

令和4年度第1回角田市長期総合計画等推進委員会におけるご意見等

○会議当日のご意見等

(3) 角田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について

【資料3-1】角田市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げるKPIの達成状況等について

ご意見等	市からの回答等
<p>基本目標②地域資源を活かした移住・定住の推進で転入者を設定しているが、転入者の集計の中に移住者・定住者の数はどのように把握され、目標の達成につながっているのか。</p>	<p>移住者は角田市、宮城県の実策による公的サービスにより転入してきた人という認識でいる。転入者については、角田市には誘致企業もあり、仕事のために転入してくる方もいるが、逆に市外へ転出する方も多い。そういった意味で転入者の中の移住者の割合は少ないのではないかと認識している。なかなか角田市が移住先に選ばれにくい点もあるため、ターゲットを絞った施策が必要と考えている。</p>
<p>基本目標③若い世代が子供を産み育てやすい環境の整備で目標値の達成が難しいという結果になっているが、この数値からどのような分析がなされているのか。 また、基本目標④安全・安心で住み続けたい「まちづくり」で、避難行動要支援者名簿、避難行動計画について、策定率について現状どうなっているのか。市民と共有しながら策定していくことになっているのか。</p>	<p>子育て支援に関するアンケートについて目標30%に対し低い達成状況になっている。その要因として、幼稚園等統合に特化したアンケートであったことや、産科小児科がないことなどが考えられる。 避難行動要支援者名簿は毎年更新され、700人程度となっている。令和8年度までに個別避難計画を策定するように国から指示があるが、今のところ策定するところまではきていない。避難行動要支援者は3月の地震の際、民生委員により安否の確認を行ったが、今後の安否確認方法については民生委員協議会と現在協議中である。</p>
<p>事業者はコロナ禍の中、色々と工夫をしながら経営してきた。総合戦略、長期総合計画ともに新型コロナの影響により達成できなかった指標が多かったとの説明だったが、それらはコロナの影響がなければ達成できていたのか。</p>	<p>令和元年度の道の駅かくだ完成後は多くの交流人口により賑わいが創出された。しかし、10月の台風の影響もあり、道の駅から近隣施設や街なか商店街への誘導が阻害された。イベントについては、ウィズコロナの考えのもと様々な工夫をしたことで達成できた指標もあった。 資料2-2の8ページのNo.70、72、74の指標については、コロナがなければ達成できていたと思っている。特にリバーサイドマラソンは3,000人ほどの参加があるが、令和元年度は台風で、令和2、3年度はコロナで開催中止となったことが達成状況に影響している。 しかし、コロナの影響がなくとも達成できなかった指標もあるとは思っている。これから先、コロナは無くならないため、アフターコロナではなくウィズコロナの考え方のもと、施策を展開していく。</p>

(4) 地方創生関連交付金事業の効果検証について

【資料4】地方創生関連交付金事業実施計画に掲げるKPIの達成状況等について

ご意見等	市からの回答等
<p>資料4の9ページのNo.1で道の駅の売上高を目標値としており、実績額が目標値に対して1億円少ないことへの今後の取組みのところが、イベントを前提とした記述になっている。ウィズコロナに対して積極的な検証は行われているのか。例えばコロナ禍でも売り上げを伸ばしている道の駅の取組みを調べたりしているのか。</p>	<p>単なる集客イベントや直売所内だけでなく、外でのイベントなどで購入の機会を作ってきた。施設内の飲食だけでなく外での飲食を望む声もあり、キッチンカーの導入も行っている。農産物の売り上げが落ちていることについては、県庁販売などを中心に外販にも力を入れてきた。 令和3年度は農産物のイベントもあったが、所謂「賑やかし」というのをやめて、直接販売会としたことで、短時間で購入することができ、余った時間で道の駅の他店舗にも足を運んでもらうといった好循環が生まれたと思っている。</p>
<p>資料4の9ページのNo.2について、体験型イベントの参加者はどのような方面の方、エリアに募集したのか。</p>	<p>特に仙台方面の子育て世代、自転車愛好家などその分野に詳しい方に声掛けをした。モニターはほぼ仙台方面の方であった。市民もいらしたのが7割は市外の方であった。このような事業を通して地域資源の掘り起こしが図れたと考えている。今後はそれらを踏まえ、関係課と連携しながら事業を展開していきたい。</p>

(6) 第5次行財政集中改革プランの評価について

【資料6-2】角田市第5次行財政集中改革プラン進捗管理シート

ご意見等	市からの回答等
<p>ふるさと納税の収入目標が5億円となっているが、いつ設定した目標なのか。実績額が29億円となっており、目標値として適正なのか。</p>	<p>令和2年度に設定した目標値である。その当時は10億円ほど実績があったが、その90%以上がアイリスオーヤマ製品を占めており、当時泉佐野市の問題もあったため、家電以外の部分での見込額として5億円を目標値として設定した。 今年度はプロポーザル形式で新しい業者を選定し、ますます力を入れていき、それを住民サービスへ変換できればと考えている。</p>